

第5講 (つづき) 質問文と回答欄

田中重人 (東北大学文学部准教授)

[テーマ] Google Forms の使いかたと今後の予定

1 Google Forms の使いかたについて

- 「グリッド」形式
- セクションの活用
- 回答による枝分かれ

2 予備調査 (pre-test) について

本調査の前に、かならず予備調査をおこない、調査票を修正する。できるかぎり最終版の調査票と同一のものを使う。

- 質問文が適切に理解されるか
- 質問の流れに支障はないか
- 回答にかかる時間
- 回答者の負担感

対象者は少数でよい (数人から 20 人程度) が、本調査と同様の対象者を選ぶこと。回答に迷ったところや答えにくいところ、意味のつかみにくい質問文などについて、回答者の意見を集めることが目的である。このため、実際に回答してもらったあとで、かかった時間、気になったところ、疲労感などについて聞いておくこと。

3 調査票の校正

調査票は、調査開始前に入念にチェックする。小さなミスがのこっていると、それだけで調査が台無しになることがある。細心の注意を払って校正すること。

- ざっとながめる、画面上の配置や美しさを確認する
- 小さい単位に区切って、文字列を確認する
- 数字、記号、固有名詞などのチェック
- 印刷して、チェック済みのところに鉛筆や蛍光ペンなどでマークをつけながら校正するなど

校正作業に入る前に、しばらく調査票から離れて、内容についての記憶をできるだけうすれさせておくこと効果的。

4 今後の予定

各自で調査を実施すること

- 質問紙を完成させ、予備調査を経て、本調査を実施
- 適宜、田中の指導を受けること。調査実施前に、必ず OK をとらなければならない。
- 7月の授業で調査結果の口頭報告